

2016年度 中学1年 年間学習指導計画表

担任：渡部 重信

中学部の3つの方針：

1. 教師中心型ではなく、学習者主体型の、生徒が主体的に学習に取り組めるような学習環境を整える。
2. 場面に応じた日本語を使い、円滑なコミュニケーションが取れるようにする。
3. グループディスカッションができるようにする。

学期	テーマ	単元	学習内容
1	おいたち 家族	野原は歌う / 詩の世界 わかりやすく説明しよう / 情報の集め方を 知ろう ちょっと立ち止まって 漢字の組み立てと部首	<ul style="list-style-type: none"> • 詩に親しむ。詩の言葉の豊かさに触れ、筆者のものの見方、考え方を考える。 • 音読の工夫について学び、色々な表現の違いを味わい楽しむ。 • 話し言葉と書き言葉を使い分けることができる。 • テーマについて調べ、自分の言葉でまとめることができる。 • 自分のこと、家族のことを紹介する。 • 小学校の基本的な漢字の復習をする。 • 文章を読んで初めて知った事、興味を持ったことを話し合う。 • 漢字の組み立てについて、漢和辞典を活用し、調べる。
2	学校生活 友達	言葉のまとまりを考えよう 星の花が降る頃に 大人になれなかった弟たちに	<ul style="list-style-type: none"> • 文章の単位を意識する。 • 文章を読み、人物の心情の変化、事実の面白さを読み取り、自分の考えを持つ。 • 厳しい時代や、状況を生きた人物の姿から、自分のものの見方や感じ方を見つめ直す。 • 小学校の基本的な漢字の復習をする。

3	<p>日本のお祭り 年中行事</p>	<p>言葉の関係を考えよう 調べたことを報告しよう いろは歌 竹取物語 幻の魚は生きていた 本読み先生</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 文章を組み立てる際の決まりを理解する。 • 調べたことをレポートにまとめ、報告できる。 • 調査の方法と、内容、レポートの書き方について学ぶ。 • 古典における文の言葉の響きや音の調子に慣れ親しむ。 • 筆者の考えを基に、人間の生活と生き物や環境との関係について考えを深める。 • 聞く人を意識して、本を読む練習をすることで、自らの日本語能力を見直し、その向上を図る。 • 相手に応じたコミュニケーションの仕方を学ぶ。
4	<p>都会と田舎 敬語</p>	<p>話題や方向を捉えて話し合おう 少年の日の思い出 漢字の音訓、指示する語句と接続する語句 漢字の成り立ち 今に生きる言葉 慣用句・ことわざ・故事成語</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 話し合いの話題や方向を的確に捉えて、根拠を明確にして話し合う。 • 質問をし合って互いの考えを聞き、共通点や相違点を整理して考えをまとめる。 • 登場人物の考え方や、感じ方、表現の特徴などについて、自分の考えをもつ。 • 漢字の音と訓の性質や歴史を理解する。 • 教材分を読み、漢字の成り立ちについて理解する。 • 慣用句やことわざ、故事成語の語義を知り、日常生活でどのように使用されているかを知る。 • 立場の違いで使う言葉が変わることを学ぶ。

▪ 授業の進捗状況、学校行事、生徒の理解度等の事情により、取り扱う単元や時期が異なることがあります。